

平成20年度東海大豆フォーラム開催要領

1. 開催趣旨

我が国の主要食糧の一つである小麦や大豆、家畜飼料等については、その多くを外国産に依存していますが、地球規模の気象変動や途上国の人口増加と経済発展、バイオ燃料作物の需要拡大などを背景に、世界的に需給が逼迫基調となっています。そのため、我が国の貴重な資源である水田等を最大限に活用し、自給率の低い大豆や麦、飼料米などの生産拡大を図り、食料供給力を高めることが重要です。

東海地域における大豆は麦とともに水田における土地利用型作物として営農上重要な位置を占めており、今後もこのような観点から、品質の安定や生産量の維持・拡大が重要な課題となっています。

そのため、これらの課題を踏まえ、東海地域における大豆安定生産技術の確立と産地の拡大に向け、生産・流通・加工関係者の参集を得て、東海地域の大豆の生産拡大に向けた現状・課題について問題意識の共有化を図り、その解決策を探ります。

2. 開催日時

平成21年3月17日(火曜日)13:30~16:30 (受付 13:00~)

3. 開催場所

KKRホテル名古屋 4階 福寿の間

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-5-1 TEL:052-201-3326

4. テーマ

東海地域の大豆生産拡大に向けた勉強会

5. 内容

- | | |
|--|-------------|
| (1) 開 会 | 13:30~ |
| (2) 挨拶 | |
| (3) 講演 | |
| 大豆の自給力向上に向けて(仮題)(35分) | 13:40~14:15 |
| 【講師:農林水産省 生産局】 | |
| 大豆の難防除雑草について~アサガオ対策を中心に~(35分) | 14:15~14:50 |
| 【講師:中央農業総合研究センター 雑草ハイクイップ・総合防除研究チーム長 渡邊寛明氏】 | |
| ~休憩~(15分) | 14:50~15:05 |
| (東海産大豆を使った加工品の試食) | |
| 東海地域における大豆生産の状況(45分) | 15:05~15:50 |
| ア. 海津地域における大豆生産状況~平原地域営農組合の取組~:岐阜県 | |
| イ. 省力摘心技術を導入した大豆栽培:愛知県 | |
| ウ. フクユタカにおける狭畦無中耕無培土栽培について:三重県 | |
| (4) 総合討論(25分) | 15:50~16:15 |

(5) 閉 会 ~ 16:15

(6) その他 (最終終了) ~ 16:30

新技術に関するパネル展示
東海の大豆を使った大豆加工品の展示・試食

6 . 参集範囲 生産者、生産者団体、流通業者、加工業者、県、市町村、試験研究機関、
その他国産大豆関係者等

7 . 定 員 8 0 名まで (参加費無料)

8 . 主 催 東海農政局、売れる大豆づくり東海地域検討会、
社団法人 全国農業改良普及支援協会

9 . 申込み・問い合わせ

別添チラシの参加申込書に記入の上、FAXにてお申込みください。
なお、定員に達してお申し込みが受け付けられない場合のみ、事務局からご連絡を差
し上げます。

(申込み先)

〒460-8516 名古屋市中区三の丸1-2-2
東海農政局生産経営流通部 農産課 柚賀、樽角
TEL 052-201-7271 (内線2473)
FAX 052-218-2793